

現在も林野庁の国有林伐採作業による戦国古道の破壊が進んでいます！

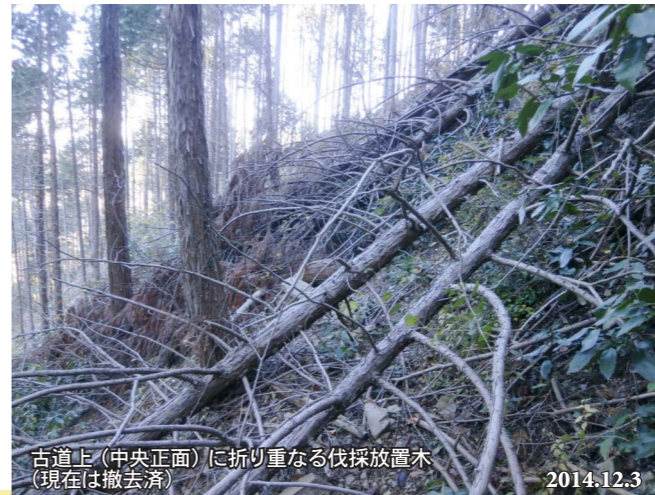
2018年12月24日 八王子城1000人隊

滝ノ沢林道の上部には、八王子城要害地区(馬冷し場)から始まる上下2本の古道があることが古くから知られています。上の道は陣馬山方面に繋がる軍道、下の道は滝ノ沢左岸陣地・青龍寺谷左岸陣地(滝の上大水平道)・大沢砦へと繋がる戦国時代の砦を結ぶ連絡道で、八王子城と同時期に構築されたものと考えられます。

林野庁 関東森林管理局 東京神奈川森林管理署(平塚市)の計画により、2012年頃から滝ノ沢地区の国有林の伐採が進められていますが、これらの古道のほとんどは国史指定地域から外れており(※1)、林野庁が遺構の存在を配慮せずに伐採作業を行っています。伐採時には、斜面に使い捨ての林道を標高約50m毎に作業道を掘削する土木工事が行われており、これにより軍道の3ヶ所で大規模な破壊が確認されました。また、切り捨てられた杉・ヒノキにより通行に支障が出ています。2017年度も高ドッケ北で掘削工事があり(※2)、通行不能となっています。

※1: 現在国史指定されているのは、八王子城の総縄張り面積(約4km四方)の10%に過ぎません。

※2: 戦後昭和期の滝ノ沢林道の造成時に、既に大規模な古道の上書き破壊が行われています。



古道上(中央正面)に折り重なる伐採放置木(現在は撤去済) 2014.12.3



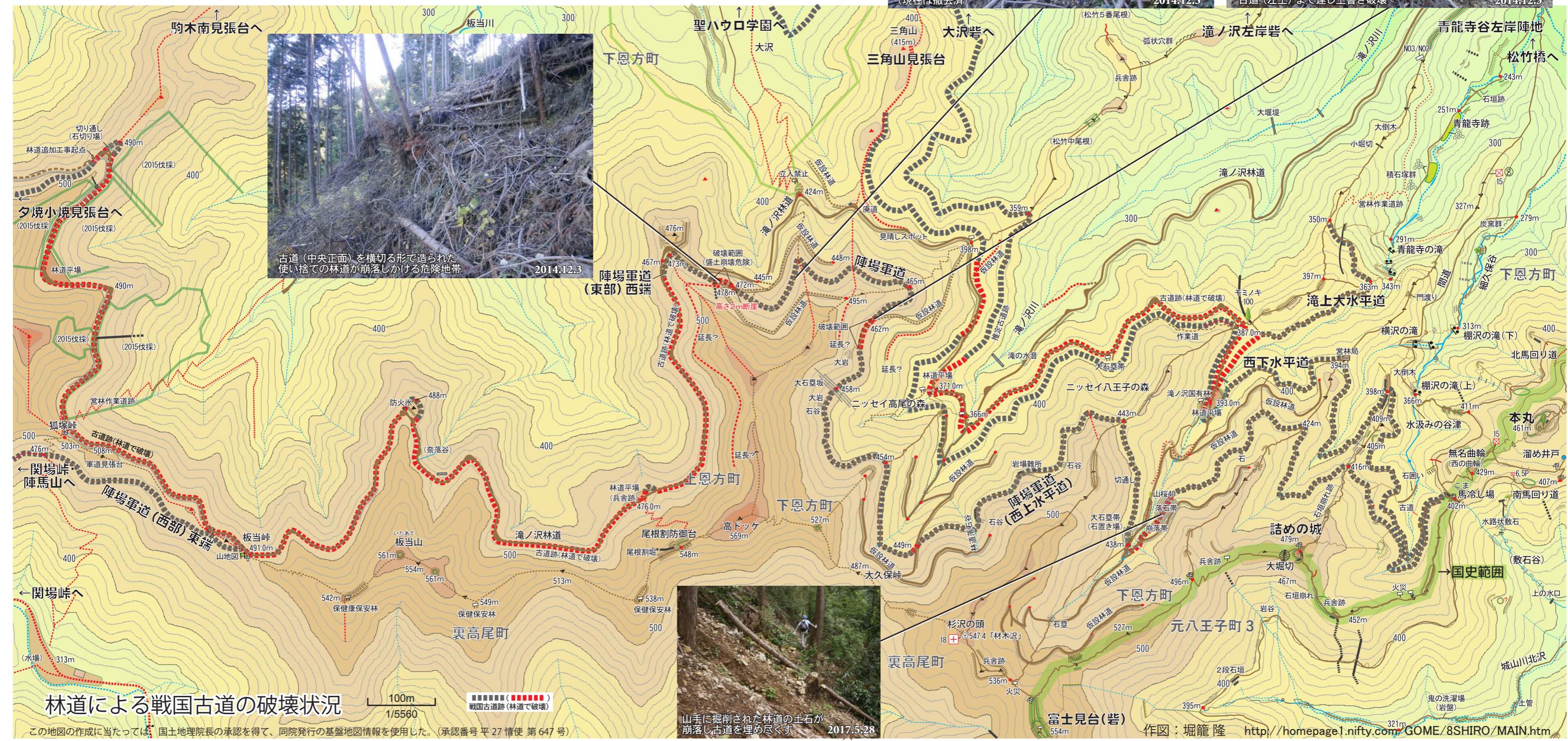
下(写真右)から伸びる使い捨て林道が古道(左上)まで達し上書き破壊 2014.12.3



古道(中央正面)を横切る形で造られた使い捨ての林道が崩落しかける危険地帯 2014.12.3



山手に掘削された林道の土石が崩落し古道を埋め尽くす 2017.5.28



林道による戦国古道の破壊状況

100m 1/5560

この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 27 情使 第 647 号)

作図: 堀籠 隆 <http://homepage1.nifty.com/GOME/8SHIRO/MAIN.htm>